

1 【一行アキ】
「土木学会初代会長古市公威に関する研究」について【討議欄 B】又は【著者回答】

【一行アキ】
『土木史研究』, vol(年), pp.

5 【一行アキ】 討議論文の出展を明記する。 討議者の場合は、タイトルの後に【討議欄 B】を、著者回答の場合は、【著者回答】を付ける。 四谷 太郎*

【一行アキ】 『土木史研究』, 巻名, ページ

8 1~7行目までに討議題名、著者名をバランスよく配置して下さい。

9 本文は8行目から始める。
10 討議者は、本文冒頭にて討議の対象論文と、
討議を行う理由を簡単に記すこと。
15 回答者は、指摘事項に対して回答の概略を簡単に記すこと。

【2段組みについて】

片側25字 真ん中に2~3字空ける
2段組みにて作成し、1頁に収める
(25字×51行×2段、文字9ポイント)

表 1 AとBとの関係

	A	B

〔表のキャプションは、上に記載〕

30 図・表・写真は、片段に納めていただきますが、
文字が小さくなる場合は、全段を使用して下さい。
(空きへの文字の組み込みは、原則としてさせて下さい)。



図 1 AとBとの関係

〔図のキャプションは、下に記載〕

写真 1 四谷の地下空間 (撮影: , 1992)

〔写真のキャプションは、下に記載〕

25 29 新しい章に移る場合は1行空ける
2~3字 章--- 1 2 ..
空き 節--- (1) (2) ..
項--- a) b) ..
【引用について】
他の論文や著作からの引用は、それが明確になるよう記述してください。
例
文章をそのまま引用する場合
引用文の前後を1行あけて、引用文を1字下げか「 」などで囲む

引用文を本文中に記述する場合引用文を挿入する場合はそれを「 」などで囲む。

著者の表現で記述する場合は不要。
いずれの場合も、必ず引用箇所の直後に () 内で引用文献を記すか、または参考文献の表記方法に従って引用箇所末に番号を付し、引用文献を示すこと。

【参考文献について】
参考にした文献は、引用順に番号をつけて本文末に
まとめて記載し¹⁾、文中にはその番号を右肩に示して²⁾、文末の文献と対応させてください。
参考文献
1) Lamb, H: Hydrodynamics, 6th ed., Cambridge Univ. Press, P. 65, 1964.
2) Miles, J.W.: On the generation of surface waves by shear flows, J. Fluid Mech., Vol. 3, Pt. 2, pp. 185~204, Aug. 1957.
著者数が多い場合、第一著者に続いて、図・表・写真のキャプションは、et al. と省略下さい。
英文併記の必要はありません。
3) 土木学会編: 『ニューロソフィア地下空間』, 技報堂出版, pp. 9~15, 1990年。

脚注は罫線以下に記載する